

遠くの誰かへ、 ありがとう

マンガ:骨髄移植体験記



BANK!
BANK!
vol. 35



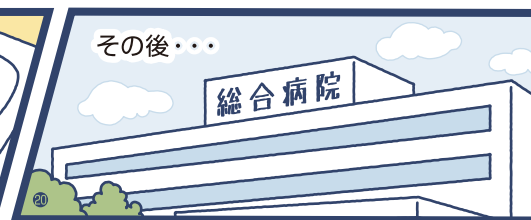
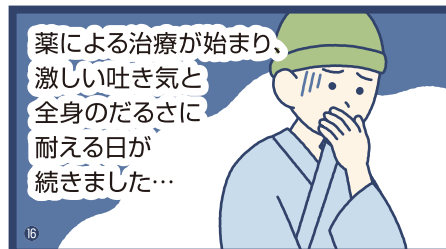
アンケートに
ご協力ください!

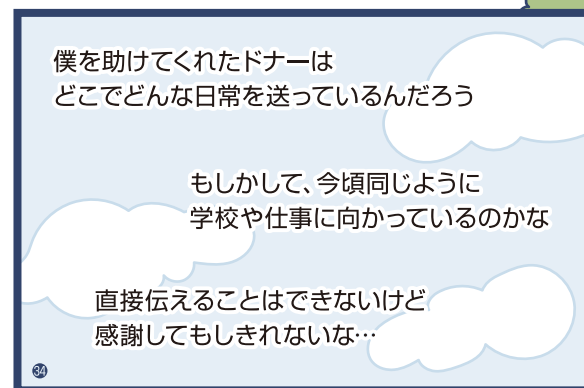


“こんなことが知りたい!”
という声を募集しています。
1~2分で完了!

遠くの誰かへ、
ありがとう







僕にもできることがあるかも？
でもわからないことが
多すぎる！



詳しくは
こちら▶



骨髄バンク 質問箱

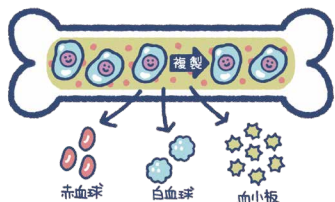
聞いたことはあるけど実際どういうモノか知らない方も
多いのではないのでしょうか。疑問にお答えします！



骨髄とは？

骨髄

骨の中にあるスポンジ状の組織。骨髄の中で血液（赤血球・白血球・血小板）を造る細胞が働いています。



脊髄

背骨の中を通る神経の束。
言葉は似ていますが、
骨髄とは全く違うものです。



特徴と強みは？

さい帯血移植と比較して骨髄移植・末梢血幹細胞移植は、生着（提供された血液を造る細胞が、患者さんの体で血液を造り始めること）が早いという特徴があります。また、採取できる細胞数が多いため体格の大きな患者さんにも対応しやすいという強みがあります。



どのように採取（提供）されるの？

骨髄採取

全身麻酔をかけて
骨盤の骨（腸骨）から
血液を造る細胞を
採取します。



まっしょうけつ

末梢血幹細胞採取

白血球を増やす薬を注射して、血液中に流れ出した血液を造る細胞を腕の血管*から採取します。

※万が一、腕の血管から採取できない場合は、足の付け根から採取することもあります。



提供するって痛い？ 身体への負担は？

骨髄バンクを介した提供ではドナーの安全を第一に行います。提供方法に応じた痛みなどの症状が出ることもありますが、通常は速やかに回復します。



◀提供後のドナーへのアンケートはこちら

公的さい帯血バンク 質問箱



さい帯血とは？

胎盤とへその緒を流れる赤ちゃんの血液のことで、造血幹細胞が豊富に含まれ、**出産時にのみ**採取することができます。



詳しくは
こちら▶

「さい帯血」って知っていますか？
提供できるチャンスは出産時のみ！事前に
知っておいてほしいことをご紹介します。



さい帯血の保存にお金がかかるの？

公的さい帯血バンクへの提供に
費用はかかりません。

※ご家族のためにさい帯血を保管する
民間さい帯血バンクでは、保管費用が必要です。

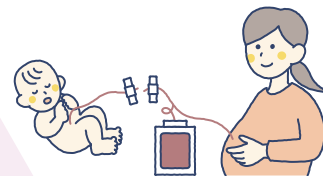
詳しくはこちら▼



どのように採取（提供）されるの？

採取

出産時にへその緒から採取します。通常は、出産後に捨てられてしまうものです。お母さん赤ちゃんともに痛みや身体への負担はありません。



保管

さい帯血バンクに搬送され、検査を行い、基準を満たしたさい帯血は必要な処理を行った後、凍結保存されます。

提供

患者さんに最適なさい帯血を病院が選んで、移植用提供されます。



特徴と強みは？

さい帯血移植では、HLA型（白血球の型）を厳密に合わせる必要がないため、使用できるさい帯血を見つけやすいという特徴があります。また、あらかじめ凍結保存されているさい帯血を使用するため、短期間で移植することができるという強みがあります。



まずは知ってもらいたい！

骨髄バンクやさい帯血バンクは、移植を必要とする患者さんを支える大切な仕組みです。まずはそれぞれの仕組みについて詳しく見てみませんか。





インタビュー
ロング版はこちら

患者とドナーをつなぐ“架け橋”

—HCTC(造血細胞移植

造血幹細胞移植の現場には、患者とドナーを支える様々な医療関係者との連絡調整や適切な治療／提供患者とドナーの双方に寄り添い続ける存在です。今回は、その仕事

コーディネーター)の仕事とは—

専門職「造血細胞移植コーディネーター」がいます。選択するための情報提供などのサポートを担い、内容ややりがい、移植医療への思いについてお話を伺いました。

移植に対する思いや考えは患者さんごとに異なっており、抱えている悩みや不安も多種多様であることを強く感じます。

どのようなお仕事ですか？

移植を受ける(検討中の)患者さん・ご家族、血縁ドナーさんへの**情報提供や意思決定支援**、非血縁ドナーさん(骨髄バンク・さい帯血バンク)との連絡調整をメインに行っています。移植に関する**相談窓口、また移植医療が安全に・円滑に進むようにマネジメント**していくことも大切なお仕事です。

移植を受ける患者さんやご家族にとって、ドナーさんの存在は光のようなものだと思います。

移植に携わってみて、「最初に感じたこと」は何でしたか？

1つの移植が成立するまでに、院内・院外のたくさんの人たちが関わっていることに驚きました。異なる場所で、いくつもの事象が同時進行で調整されていく場面を目の当たりにして、移植医療の奥深さを感じたことを覚えています。今でも、**たくさんの方たちの協力なしではできない治療(※)**であることを実感しながらお仕事をしています。

※1人の患者さんに関わるスタッフは多岐にわたり、医師、看護師だけでなく、薬剤師や栄養士、ソーシャルワーカーなど10以上の職種スタッフが丸となって患者さんを支えています。



Hematopoietic
Cell
Transplant
Coordinator

東京都立駒込病院 血液内科
造血細胞移植コーディネーター
本間 祥子(ほんま さちこ)さん

2023年、日本造血・免疫細胞療法学会認定HCTC取得。趣味は散歩、ランニング、美術館めぐり。

お仕事で大切にしていることは何ですか？

移植を受ける患者さんご家族、幹細胞を提供くださるドナーさんご家族の率直な気持ちをしっかり聞き、**寄り添うこと**です。そして、納得して治療の(提供の)選択をすることができたと思っていただけるように、考えて決めていく過程を**継続的にサポート**できるように心がけています。

お仕事の「やりがい」はどのようなところでしょうか？

患者さんの気持ちが不安や恐怖から希望へと変わっていくのを見守り、支えることができるのはやりがいの1つです。移植に恐怖心を抱えていた患者さんが「ドナーさんが頑張ってくれるのだから」と心を決めたり、つらい治療の中で、さい帯血を提供してくださったお母さんがいることを思っ頑張れたという患者さんもうらっしゃいました。**ドナーさんの存在は患者さんやご家族にとって光のようなものだと思います。**

心に残っているエピソードや言葉はありますか？

入院当初はふさぎ込んでいた高校生の女の子が、移植を終えて退院する際に「ドナーさんや病院のスタッフさんたちから、人の気持ちのあたたかさみたいなものを教えてもらえた気がします」と言ってくれました。**非血縁のドナーさんと患者さんは、お互い顔が見えない同士ですが、気持ちは伝わるんだ、と実感しました。**

ドナー登録やさい帯血提供について検討される方にメッセージをお願いします。

造血幹細胞をご提供いただくためには、いくつかのステップがあり、**誰もが容易にできるものではありません**。もしも少しでも興味をもっていただけなら、まずはどのようなものなのか、情報収集することからはじめてみていただけるとありがたいです。



●特別インタビュー

患者とドナーをつなぐ“架け橋”

——造血細胞移植コーディネーターの仕事とは——

●正しく知るコーナー

骨髄バンク 公的さい帯血バンク 質問箱

vol.

35

BANK! BANK!